

5月号, 2011.5.5
Vol.41

Morishita-News

www.tanigawa-koubou.com

谷川工房のホームページをのぞいて見てね。ブログもね!



P2;社長のひとこと

P3;暮らしのアイデア

P4;東日本大震災リポート



東日本大震災

現場より

未曾有の大災害となった東日本大震災。遠く離れた三重の地の私たちにとっても家族や知人などが被災された方もみえとても悲しい身近な出来事となりました。FPの会員さんも被災され避難生活を送ってみえます。今回岩手県滝沢村の工務店サトコンホームさんからの現場リポートが届いたのでご報告します。

地震から13日目 被災地の様子

昨日、沿岸にお住まいで被災されたお客様の元へ、社長、営業の佐藤、FPコーポレーションの所長が行ってまいりました。

安否確認がなかなか出来ず、非常に心配しておりましたが震災後5日目にお客様からご無事との連絡が入り社長はじめスタッフ一同胸をなでおろしました。

避難先から我が家に戻るとご近所の住宅は流され、9年前にFP工法で建てたお客様のお住まいがポツンと残されていただけだったそうです。(右上写真)

家の中に入ると、1階は津波で浸水しましたが2階は大丈夫。地震発生時、ご主人様は尋常じゃない揺れにすぐさま奥様を車に乗せ安全な場所へ向かったそうです。お住まいは被害を受けましたが、お客様がご無事であったことが何よりです。

また、ご主人様は改めて「FPの家」の素晴らしさ(耐震性)を身をもって感じたとのこと。

私共が自信を持っておすすめしているFPが、こんな形で評価されるのは少々複雑な気持ちですが、嬉しくもあります。

現在の風景です。



応急処置に行っていました。

先日、津波の被害に遭われたお客様のお住まいへ行ってガレキ撤去のお手伝いをしてきました。

まずは写真をご覧ください。(右中写真)

壁を突き破って建物へ侵入してました。津波の恐ろしさを目の当たりし、あまりの状況に声がでませんでした…。2階部分では右側の壁に大きく穴が開いています。恐らく、流れてきた住宅がぶつかって壁に穴を開けたと思われます。(下左写真)



驚いた事が1つ…なんと、室内の壁には影響がありませんでした。※穴が開いた壁の反対側写真です。(下右写真)

このような形で「FPの家」の強度が証明されるというのは複雑な気持ちですが、避難していたお施主様に、「残っていたことが良かった」と大変喜んで頂いた事が、何より嬉しい限りです。我々は、被災地に物資を届ける事や今回のような事でしか協力できませんが一日も早い復旧と、被災に遭われた方々の健康を心からお祈り申し上げます。 営業 佐藤

編集後記

by くさっち

3.11 14:46 なぜか頭がクラクラするので、疲れがたまってきた貧血かな?とっていると窓のブラインドが風もないのにカタカタと音がして地震だと気が付きました。ながい時間ぐらぐらと船に乗っているような気持ちの悪いゆれに、事務所で一人居るのはとても怖かったです。夕方家に帰ってニュースで衝撃の映像を目にして声がでませんでした。・・・復興によやく動きました。日本の未来を信じたいですね。

有限会社 谷川工房

〒513-0009

三重県鈴鹿市中富田町380番地

TEL 059-378-3700

FAX 059-378-2478

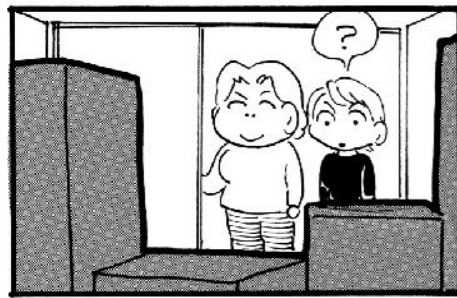
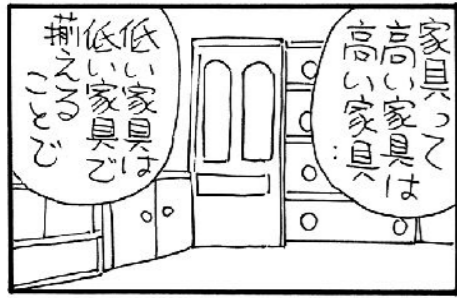
フリーダイヤル 0120-059-340

HP tanigawa-koubou.com

Mail t-koubou@mecha.ne.jp

定休日 毎週水曜 日曜

家具編



聞いて納得! 暮らしの アイデア

今月のアイデア



我が家のお悩み診断! Dr. 住まいる

き月ご相談

Q.

A.



おうちで気軽に始めよう! 住まいる 風水



地震及び津波により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、災害発生地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

震災から2ヶ月がたちました。私たちの役割は、家族の健康と命を守る、より安全で安心できる住まいを提供することが大切ではないかと思います。

また建築関係の工場も多く被災し、現場では物流不足で皆様にもご迷惑をおかけしておりますが、徐々に回復してきておりますので、ご安心ください。私も流通経路を模索し現場が滞ることなく動くよう努力しております。一刻も早く西日本が元気になって経済を回復していかなければなりません。皆さんと一っしょにできること 地震に強く水害にも強い家を建てることで貢献できるのではないかと心新たに思う今日この頃です。

What's FP House?

FPの家 よもやま話 No.16



大震災におけるFPは・・・

一瞬のうちに全てを流し去った津波。多くの方が避難をされ、帰るべく住まいのないまま寒い避難所ですごされています。FPの家のFPコーポレーションでは、体育館などに避難されている方が固くて寒い床で過されていることを知り、暖かいFP床パネルを避難所に無償提供をさせていただいたとのこと。

冷たい床でゆっくり眠ることもできなかった方達が、硬質ウレタンフォームの断熱材で初めて熟睡されたという報告がはいております。企業としてできることは限られておりますが、私たちも何が出来るかを考えていきたいと思ひます。



次号につづく

工事進行中のお家

■ 新築建替え 鈴鹿市 0邸



6月12日 完成見学会予定
延べ床面積 60坪

■ 新築 亀山市 T邸



7月3日 完成見学会予定
延べ床面積 39坪

■ 新築 鈴鹿市 1邸



5月16日 着工
7月12日 上棟予定

■ 新築 亀山市 0邸 プラン中

排水管・排水樹よごれてませんか？



アフターメンテナンスと一緒に回っている葛西さん。

築年数の経っているお施主様からよく聞かれるのが排水管の清掃。つまったり臭いがしてお困りの方が随分といらっしゃることで、排水管清掃を請け負うこととなりました。台所の排水管や洗濯機の排水管など随分汚れているものです。



排水管専用ノズルで外部樹から内部の配管を水洗いします。

1軒あたり 4~5ヶ所(台所、風呂、洗面、便所)
¥7,000 所要時間2時間ぐらい
ご希望の方は (有) 谷川工房までお電話下さい。
059-378-3700 (担当草野)